

二学期始業式式辞

みなさんおはようございます。夏休みが終わりました。まずは、693名のみなさんが大過なく本日2学期始業式を迎えることができたことは大変喜ばしいことです。本当に良かったです。この間、グローバルに社会情勢を勘案しながら、果敢に挑戦する自分がありましたか、振り返り自己評価して下さい。たとえば、進路実現に近づけた。部活動で自己ベスト。コンクールで入賞し表彰された。表彰や勝利に繋がらなかったが納得感を得た。アルバイトで一定貯金できたので家計を助けた。毎日家事を手伝った。自己の思いを他者につたえることができた。等目標達成です。達成できた人は更に高見を目指して下さい。残念ながら気ままな生活で終わってしまった人は今日今から直ちに目標を設定し計画的に歩みを始めて下さい。

ここで一つ皆さんに問います。私もみなさんと同様その日の目標、また、3ヶ月先、2～3年先の中長期的な目標を設定し生活しています。クリアできたり、失敗したりの繰り返しです。しかし、人としてのありようや人間性に完成や完遂はないように思います。生涯通して、日々の目標をクリアしながら、又、失敗しながら、振り返り、改め、学び、人として成長していくものだと思います。みなさんいかがですか、個別に又協働にて深く思考して下さい。

さて、この夏の社会状況に少し触れます。参議院選挙結果からみるポピュリズムの台頭、地球温暖化の進行による熱波、カムチャッカ半島沖巨大地震による津波の到達等、メディアが踊りタイムリーに様々な情報が発信されていました。都度、自分なりに分析し学び、見通しを立てました。特に、Well・beingな環境づくりを骨子とした、豊かな社会創造等、本校の向かう方向に合致するメッセージが深く心に響きましたので一部抜粋を紹介します。小学生のメッセージです。【一人ひとりが相手の考えに寄り添い、思いやりの心で話し合うことができれば、傷つき、悲しい思いをする人がいなくなるはずで。周りの人たちのためにほんの少し行動することが、いずれ世界の平和につながるのではないのでしょうか。「One voice」たとえ一つの声でも学んだ事実に思いを込めて伝えれば、変化をもたらすことができるはずで。】

みなさん、学びを止めず、自己実現と多文化共生社会を実現させるとともに、生涯通して人としての成長とともに向かいましょう。

結びに、生徒のみなさんをはじめ、本校関係者すべてのみなさんが今日からの一日一日を充実させ、飛躍の2学期となることを念じ、はじまりの式辞とします。

大阪府立貝塚南高等学校
校長 藤田 繁也

